



**実践団体情報**

記入日	2019年1月16日(2018年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
代表者名	学校長 池田 功
プラン全体のタイトル	地域と連携した防災教育の取組 ～東学園5レンジャー!～地域の安全守りタイ出動!～
電話番号	0967-65-0022
メールアドレス	<a href="mailto:higashi-es@tkbb.jp">higashi-es@tkbb.jp</a>
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	本校は児童生徒数42名、職員数24名の小規模校です。熊本地震では、児童生徒の家庭から学校や近隣の家庭・避難所等が離れていることもあり、自分の家庭や地元の避難所で過ごす児童生徒が多く見られ、地域の一人としてどんな場面でも対応できる防災や減災の力をつけていく必要性を感じました。そこで、学校と地域が連携し相互の活動を確認しながら「東は1つ!防災力を高める」取組を進めました。。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	高森東学園教職員・児童生徒、JA阿蘇総務課(園田・佐藤)、親父の会代表(工藤)、PTA代表(岡本)、高森町JA婦人部(工藤)、高森町総務課防災官(岩下)高森町社会福祉協議会(渡辺)、野尻草部分駐署(遠山)、野尻駐在所
活動地域	高森東学園義務教育学校を中心 児童生徒居住地
活動開始時期・結成時期	平成28年10月
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴(チャレンジプラン以外も含む)をご記入ください	例年夏休みにJAチャグリ活動として食を通して防災に関する取組を実施。 避難訓練を年間計画に位置づけ実施。 防災に関する学習も適宜実施。

プラン全体の概要	<p>防災に取り組む5つの組織（教職員・児童生徒・保護者会・行政・地域組織）が連携を図りながら、学校防災力と個人の防災力を高めていきます。防災について学び、体験し、伝えることで「つながり」と「深まり」のある取組を目指します。関連教科を活用した防災学習の実施、教職員間の研修の実施、児童生徒防災リーダーを中心とした活動、他機関と連携した防災学習・防災体験活動、地域への啓発、保護者の方と連携した取組などを行いました。</p>
----------	---

## プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	職員会議での提案	他組織との連絡調整、取組についての確認	 防災に関する関連教科等での学習
5月	運営委員会	文書作成	 運営委員会開催 ○年間活動計画の検討
6月	地震避難訓練 リーダー会議 運営委員会	避難訓練等準備・打ち合わせ	リーダー会議 ○校内安全マップ作成 ○地震避難訓練検討
7月	防災チャグリンフェスタ PTA 救急救命法	事前打ち合わせ 必要物品の準備・確認 消防署との連携	防災体験活動 ○非常食作成、防災グッズの作成
8月	校区ボランティア		地域清掃活動
9月	防災カレンダー配布		カレンダー作成と配布
10月	防災プレスレット作り	必要物品の購入	各学級での指導・作成
11月	防災体験活動 文化祭での啓発活動	事前打ち合わせ 必要物品の準備・確認	防災体験活動（火災・自然災害）
12月	TPCでの活動報告		
1月	防災教育実践のまとめ		
2月			
3月			


プラン全体の反省点・課題・感想	5つの組織で連携した取組を行うことで充実した実践内容となった。教科や関連学習での学びだけではなく、体験活動などを様々な立場の方の協力を得て実施したことにより、児童生徒が自分だけではなく身の回りの環境や人々、地域の防災についても視野を広げ考えることができている。
今後の活動予定	(1) 防災手帳の活用 (2) 活動の反省とまとめ 今後も今年度の活動をベースに、組織での連携を図りながら取組を継続していきたい。

## 実践したプランの内容と成果

記入日	西暦30年12月1日(31年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	1
タイトル	～子どもと大人、学校と地域をつなぐ防災の架け橋～ 地域防災力の向上をめざす運営委員会の実施
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額	なし
実践の準備にかかった時間	数時間、適宜
実践活動を実施した日時	2018年4月6日～2018年12月20日
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	6時間 ①運営についての方向決め(2時間) ②防災チャグリン事前打ち合わせ(2時間) ③おやじの会等防災体験教室事前打ち合わせ(2時間) その他(各担当で会議)
実践の運営側で動いた人の人数	人
防災教育の対象者の属性	中学生・保護者/PTA・地域住民(親父の会)・社会人/一般(JA阿蘇総務課)・女性(高森町JA女性部)・防災関係者(消防所・高森町防災官)・全ての人々(社会福祉協議会)・その他
防災教育の対象者の人数	約15人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	各組織、各立場から、現在の防災に対しての取組や思いを出し合い取組についての計画・可能性について検討。

達成目標	熊本地震を通じた経験的な学びを、各組織・立場から児童生徒へ伝えたい・学ばせたい内容について出し合い、具体的な方向性を決めていくことで取組の成果を防災の日常化につなげる取組にすること。また、防災への力が地域の活性化なるように伝え広げられる取組とする
------	---

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法	 <p>各行事前に関係者が集まり取組に関する打ち合わせを実施。児童生徒防災リーダーをサポートしながら、今年度の活動の方向性を決めた。会議の中で参加者の各立場からの防災への取組や思いを提案していただき取組についての確認をした。(司会進行等防災リーダー活動計画と各立場での取組の可能性の検討)</p>	
得られた成果	各立場からの防災に関しての思いを交流しあうことで、防災の取組について考えを深めていくことができた。そして、地域人材の確認ができ、取組の可能性について考えることができた。今取組については、関係者全員で行うことを確認しあうことができ防災意識も向上につながった。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫	本校地域の協力体制の良さを改めて実感した。取組に関しても意見が多く出され、積極的に計画等を準備され、会議では提案が行われた。その際も、アイデアの交流が行われた。	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	JA 阿蘇営農部（園田・佐藤）	
関係者の説明	JA チャグリンの運営（計画～実施）防災に関する体験・学習	
関係者の連絡先	0967-22-0216（阿蘇 JA 支所 営農部）	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	JA 阿蘇高森女性部（工藤）	
関係者の説明	防災チャレンジプラン ファシリテーター	
関係者の連絡先		
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	親父の会 代表（工藤）	
関係者の説明	高森東校区親父の会 防災についての啓発活動	


関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について__	
関係者の名前・団体名	野尻草部分駐在所
関係者の説明	分駐所職員・消防士（分駐在所長 遠山）
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について__	
関係者の名前・団体名	高森東学園義務教育学校 PTA 会長（岡本）
関係者の説明	保護者の代表として参加
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	高森町役場総務課 防災官（岩下）
関係者の説明	防災に関するアドバイザー
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	この報告書を見ていただいている方々へ
伝えたい内容	高森東は1つ！チーム一丸となり取組を進めています。児童生徒を中心に、教職員・保護者等関係する、すべての関係者で地域防災への力をつけていく取組を目指しました。連携・協力が実践の機動力になりました。

**実践したプランの内容と成果**

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	2
タイトル	～学校内外を見渡し、災害を予想し対策を～ 防災リーダーを中心とした防災への取組
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額	なし
実践の準備にかかった時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年7月10日13時～13時50分
実践の所要時間	50分
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性	児童生徒防災リーダー
防災教育の対象者の人数	約6人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校 運動場 2棟ミーティングルーム
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	

達成目標	児童生徒の防災リーダーを中心とした防災への取組を行う。 学校内外の安全について考えさせる。防災リーダーとして「小・中学生のみinnで活動できることや活動しなければならないこと」を考え全体に提案する。	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません	<input type="checkbox"/> 運営委員会への参加・司会進行 <input type="checkbox"/> 防災リーダー会議(8・9年生) 	



(1) 避難訓練の計画・役割分担(司会進行)事前準備

- ①熊本地震を振り返り、学校にいるときの、危険箇所について検討する。
- ②①をふまえ避難訓練の計画を立てよう。
- ③地震の警報音がなった後の動きをイメージする。  
・身を守る工夫・危険箇所回避で逃げる工夫・低学年の児童の安全確保の工夫
- ④避難訓練の全体の流れの確認
- ⑤校内地図を見ながら、危険箇所と地震時  
予想される被害を考え防災マップを作成。



- 地震避難訓練・・・①避難活動後全体の様子を見て、防災担当と協力しながら(安全確認であがった危険箇所を回避しながら、防災リーダーとして第2避難場所へ移動を指示する)②集会活動の司会進行
- 児童生徒主体の校内安全点検・・・とりまとめ
- 本校避難所(ワールドカフェ)についての検討ととりまとめ、高森町防災官への依頼
- 火災避難訓練の集会活動・・・リーダー的に活動(低学年のお世話等を含む)
- 火災予防のための呼びかけビデオの作成・・・TPC に依頼して放送していただく



	<p>□防災手帳の作成と検討</p> <p>□防災グッズ作成についての検討・・検討後防災プレスレットを作成することに決まった。</p>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>(1)の地震避難訓練については、生徒の視点から見た災害状況を予想した訓練となった。各児童生徒が避難訓練を通して、避難経路など気づいたことなどを出し合うことで身近な課題として考えることができた。また、防災リーダーの意識も向上した。避難の方法について積極的に意見を出し合い検討することができていた。自分のことだけでなく、学校の施設、教職員・児童生徒など安全を確保するための工夫も出し合い検討することができていた。1年間防災リーダーとして取組を行ってきて、自分自身の命だけではなく「自分ができること、自分たちができること」を確認し合いながら取組を行う力がついてきたと思う。</p> <p>□校内安全点検については、毎月先生方も点検をしているのですが、全児童生徒での確認したことでより一層施設面での安心を確認することができました。見たり聞いたり動かしたり音を聞いたり丁寧にてんけんをしてきている姿が印象的でした。みんなで、見てもらったことで、日常的にも小さなことでも気になることがあるとすぐに知らせてくれるようになっていきます。</p> <p>□本校が避難所になった場合に必要なことを考え合い、高森町の防災官に伝えたことで、町の取組についてもアドバイスをいただいた。そのことは活動の自信につながった。</p> <p>□防災手帳については、今まで学んだ「地震」について大切なことをまとめ作成した。学習のまとめとして良い機会となった。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
<b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	学びに向かう力・人間性	大いに
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>(1)の避難訓練について、休み時間に準備しておいたため、災害予想の場所（ガラスの散乱など）を見た児童生徒や教職員は避難警報後先にその場所を回避しながら避難することになった。事前の打ち合わせを十分に行い訓練の意義（失敗することより児童生徒が考えることが大切だと）を十分に教職員で共有していくことが大切だと感じた。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	


関係者の連絡先	
---------	--


<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</p>	
伝えたい相手	防災リーダーの君たちへ！
伝えたい内容	従来先生方が考えた避難訓練や防災教育でしたが、今回「自分たちで考えたい！計画したい！」と積極的に活動してくれましたね。時間や制約も多かったと思いますが、自分たちでできることを考えながら活動できていました。これからも取組を進めていきましょう。

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	3
タイトル	～学校内外を見渡し、地震災害を予想し対策を～ 防災リーダーを中心とした避難訓練の実施
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額	なし
実践の準備にかかった時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年7月13日11時30分～12時20分
実践の所要時間	50分
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性	児童生徒 高森町防災官
防災教育の対象者の人数	約55人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校 運動場 2棟体育館
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	○高森町防災官

達成目標	児童生徒の防災リーダーを中心とした避難訓練の実施。児童生徒が自ら考え行動する避難訓練の実施。防災に関する知識を高めること。災害を想定した避難訓練の実施	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法	(7月9日)各学級で事前指導 (生徒作成の校内防災マップの活用) (7月13日)地震避難訓練の実施  ①児童生徒による校内危険箇所等をもとに、地震災害をイメージしガラス(ペットボトルを切った物)を散らしておいたり、物を倒しておいたりして避難経	

	<p>路の環境に変化を与えた状況を作った。</p> <p>②緊急地震速報を基に児童生徒が自ら考え避難する。</p> <p>③第1次避難所では避難経路で気づいたことや考えたことを話し合いどう避難することが大切か検討し合い安全確保を行った。</p> <p>④安全確認であがった場所を回避しながら、防災リーダーの指示を受け第2避難場所に移動した。</p> <p>⑤避難訓練後、各学級でワークシートを活用し反省をまとめたり今回の動きについて評価や意見交換を行った。</p> <p>(3) 2次避難場所の決定と全体での移動</p>  <p style="text-align: right;">窓の近くが危ないよ。</p>	
<p>得られた成果</p>	<p>生徒の視点から見た災害状況を予想した訓練となった。各児童生徒が避難訓練を通して、避難経路など気づいたことなどを出し合うことで身近な課題として考えることができた。また、防災リーダーの意識も向上した。避難の方法について積極的に意見を出し合い検討することができていた。自分のことだけでなく、学校の施設、教職員・児童生徒など安全を確保するための工夫も出し合い検討することができていた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>休み時間に準備しておいたため、その場所を見た児童生徒や教職員は避難警報後先にその場所を回避しながら避難することになった。事前の打ち合わせを十分に行い訓練の意義（失敗することより児童生徒が考えることが大切だと）を十分に教職員で共有していくことが大切だと感じた。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について__</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>高森町役場防災官 岩下</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>避難訓練様子をチェックし講評をいただいた。</p>
<p>関係者の連絡先</p>	<p>高森町役場 総務課</p>



★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	防災リーダーの君たちへ！
伝えたい内容	<p>今回は、校内の防災マップを考えて作り上げ、そのことを基に、実際にみんなと危険箇所などについて考え合えたことが一番の成果だと思います。避難訓練後も校内にも掲示され、低学年の子ども達にも定期的に危険箇所を確認するためにとっても良いものとなりました。</p> <p>避難訓練では、全児童生徒で地震災害の時に気をつけるべきことを、皆さんの提案した危険物等の設置で効果的に考えていくことができました。校舎内に残留の生徒を見つける役割の先生方も、本当の場面だったらどうなるか・・・と考えることも多くあったようです。これからも、みんなで防災について考えていきましょう。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	5
タイトル	こわかった記憶・思い出も乗り越えて・・・ ～ストレスマネジメントについて学ぼう～
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	30分
実践活動を実施した日時	2018年7月13日10時50～10時25分
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	30分
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	8年生 防災リーダー 4名 児童生徒・教職員
防災教育の対象者の人数	約55人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟体育館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	バレーボール

達成目標	児童生徒が自分自身の心に向き合いケアの方法を知る。
------	---------------------------

どの力を身につけよ うとしましたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	<p>防災リーダー司会進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開会・講師紹介</li> <li>○講話・実技</li> <li>○感想発表</li> </ul> <p>「困ったことがあったときに、今日のことを思い出してやってみたい」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>時々リラックスしようね！</p> </div>   <p>○閉会・・教室に戻りワークシート記入。</p>	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	<p>参加した一人一人が自分の心に向き合い、考える機会となった。日常生活の中で心の動き（ストレス）を感じたときに今日学んだことをやってみたい、家族に教えたいという感想がたくさんあった。心が楽になったという生徒もいたので、今回の学びを活用し継続して心のケアを行っていきたい。</p>	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦勞・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦勞した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	<p>時間が十分とれていなかったため、スクールカウンセラーの方からあと少し時間が必要だったと感想をいただいた。経過を見ながら今後もストレスマネジメントなど行っていきたい。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	阿蘇教育事務所 スクールカウンセラー 駒込
関係者の説明	スクールカウンセラーで都市の小中学校で業務
関係者の連絡先	阿蘇教育事務所

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</p>	
伝えたい相手	防災チャレンジプラン運営委員会の皆さん！
伝えたい内容	<p>熊本地震は、建物損壊等の修復可能範囲の被害でした。しかし、夜中家庭で被害に遭い、避難所や庭先で数日過ごした児童生徒もおり、継続する地震に恐怖を体験した心が癒やされるのには時間が必要でした。また、心のアニバーサリー現象が起きる時期に入り、アンケートや対話により状況の把握を行いながら対応を行っているところです。自然災害と心のケアは十分に検討していきます。</p>



## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	6
タイトル	自然災害と地域防災について考える ～阿蘇災害・阪神淡路大震災について～
実践担当者のお名前	Lブロック主任 熊谷 潤一

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	10000円(講師謝礼)・別会計
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	講師との事前打ち合わせとして2時間程度
実践活動を実施した日時	2018年6月
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	1時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 8年生生徒 教職員
防災教育の対象者の人数	約20人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟 会議室
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	講師(元消防士、山岳救助隊隊長)ビデオカメラ・電子黒板・黒板

達成目標	自然災害について知り、地域防災について自分が考えたことに課題を持ち、講義に参加する。自分自身が自他のためにこれから地域防災についてできる活動について考える。	
どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	<p>○事前学習「自然災害を知り、防災について課題を考える」 ○講義式授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害について「地震・火災・阿蘇火山噴火等」災害の実際</li> <li>・自然災害の時に避難を考えるとときに大切なこと消防隊員としての思い（過去の災害・PTSDについて・自然との共生</li> </ul>    	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	過去の地元の災害について知り、災害救助に関わる方々の思いを理解することができた。また地域防災や互助共助の大切さを学んだ。学びを基に、今後の自分自身の生き方在り方について考える姿勢が見られた。	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	講師との事前の打ち合わせを丁寧に行った。 校内研修として教職員も授業に参加し、職員と生徒の交流の中で様々な視点から意見交換ができ、学びが広がったり深まったりした。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	薄井良文（あそ Be 隊）（元阿蘇広域消防本部山岳救助隊隊長）
関係者の説明	薄井良文 / Waku Waku OFFICE あそ B e 隊 代表 1957 .6.3 生。東京消防庁から阿蘇へ移職 東京消防庁から阿蘇へ移職

	<p>東京消防庁から阿蘇へ移職 東京消防庁から阿蘇へ移職 。熊本県防災消航空隊初代員帰任後、阿蘇消防初代山岳救助 隊長として山岳救助体制を確立する。</p> <p>2015 早期退職し、救助現場などで体験し培った危機管理法や、救助現場などで体験し培った危機管理法や、自然体験活動指導で得たア イスブレイク・チームビルディング術などを指導。アイスブレイク・チームビルディング術などを指導 。アイスブレイク・チームビルディング術などを指導 。アイスブレイク・チームビルディング術などを指導者や青年リーダ、企業地域団体への者や青年リーダ、企業地域団体への実践研修など、「自然との共生命向き合う」講義活動を始める 。</p>
関係者の連絡先	





<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</p>	
伝えたい相手	薄井 良文様（あそ Be 隊）
伝えたい内容	<p>（本校生徒 新聞投稿記事より）</p> <p>防災教育で防災に関わった方から話を聞いたり、避難活動を体験したりしました。僕たちが普段見ることができない救助する側の視点で考えることができました。消防隊はすごいというけれども、消防隊の気持ちは「人々の不幸の上に成り立っている仕事」という話を聞いて驚きを感じ、隊員の方々がどんな気持ちでいるのかを改めて知ることができました。避難活動では自分の命を守ることはもちろん、周りにも目を配ってそこにいる全員が助かるようにしたいと思います。今回の学習で「もし自分だったら」と考えることができました。また、熊本地震を思い出し、あのときこうしておけば良かったと思う部分もありました。学んだことをこれからの生活で活かしていきたいと思います。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	7
タイトル	～巨大地震に備えよう～ 校内研修：家庭科の授業(住生活と自立)
実践担当者のお名前	家庭科 担当 松永 ゆか

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数時間
実践活動を実施した日時	2018年10月
実践の所要時間 例：2時間×2日=4時間	3時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任・教職員 8年生児童
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板

達成目標	自然災害について知り、日常の生活の中で「災害に備える行動」「住生活の中で安全を保つ」ことの大切さについて気づき考え合う。
------	--

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法	<p>校内研修（家庭科）～巨大地震に備える</p> <p>熊本地震を振り返り、災害の怖さについて考えた。その後、巨大地震が来る前に準備ができることについて、話し合いを進めた。自分自身の住まいにおいて、どのような対策を講じることができるかを考えた。「おばあちゃんの部屋に、高い棚があって、乗っているものが落ちてきたら危ないので、物を下ろしたり、固定したりする必要がある。」というように、相手意識や経験から考えられる根拠を明確にした対策を考えられており、実際に各家庭で取り組んでいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>家では避難グッズを用意しているよ</p> </div>	
得られた成果	<p>災害について考えることで、身近な場所でも何ができると、考え合う姿がよく見られるようになった。繰り返し学ぶことで意識が変容してくるのが伝わってくる。</p>	
どのくらい身につきましたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫	<p>数分後災害が起こると言う想定は、準備より逃げるのが先になる。今回のような場面設定で学習を進めることの難しさを感じた。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	保護者の皆様へ
伝えたい内容	<p>自然災害の学習を通し、家庭でのつづやきを大切にしてください。</p> <p>一つ一つの出来事についてしっかり考え、自分たちなりの答えを出す          ことができます。このことは将来の子ども達の防災への力につながります。是非、話題にされて、子ども達を一人の防災力として捉えて          いただけたらと思います。子ども達はすごい力・可能性を持っています。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日（30年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	8
タイトル	東北×熊本×東京チャリティリレーマラソン参加 私たちにできること
実践担当者のお名前	9年担任 吉田 沙也加

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数日（授業時間外）
実践活動を実施した日時	6月～12月
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	数日間
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	9年生
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟 高森中学校 東京都（日比谷国際ビル（東京都内各地）
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ

達成目標	東北・東京・熊本の生徒で募金活動を行い、災害復興に関する啓発をしながら、様々な人たちと交流する中で、地域防災について考える機会とする。視野を広くもち、防災について考える人たちの思いや願い、熱意を知り、自分たちでできる取組を考える。
------	---

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	<p>○熟議受講 ○募金活動・リレーマラソン参加 ○復興に向けての取組を考える ○活動の実際（阿蘇神社・松山市等に募金や応援メッセージの送付）</p>  	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	<p>熊本地震を通し、地域防災の必要性は児童生徒ともに理解はできているが、自分たちに何ができるかというイメージはなかなか難しい。しかし今回参加したことで、被災地のかた方の思いや被災を応援する方々の思いを知り感じることで「自分たちができること」をより一層、身近な課題として考え合うことができた。また、自分たちで学んだことを学校内や地域に伝えるということで、リーダーとしての意識を持ち活動することができた。</p>	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	<p>たくさんの方々の思いに触れたことはとても良かった。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について —	
関係者の名前・団体名	公益社団法人 日本フィアンソロピー協会
関係者の説明	市民、団体、企業のフィランソロピー（社会貢献）活動を啓発、啓蒙するとともに、ボランティア活動、公益活動への関心を深め、より良い社会の醸成に寄与する事業を行っている。
関係者の連絡先	〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-1-1 新大手町ビル 244 区 TEL : 03-5205-7580



★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	9年生のみなさんへ
伝えたい内容	防災に関する1つ1つの課題について丁寧に取り組んでいることは、きっと周りの人たちへ思いが伝わります。学びを伝え広げ、東校区の防災を考えるリーダーとして取組を継続してください。そのために、先生方や親父の会・PTAの皆さん、地域の方々と連携しながら学校外へも視野を広げた防災についても考えていきましょう。君たち行動が地域を守る防災力となります！中学生の力はすごいのです！

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日（30年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	9
タイトル	～ぼく・わたしと家族の命を守ること～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	1年担任 片山 ゆき

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月（避難訓練外の学習の時間）
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	5時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 1年生児童
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板・防災プレスレットキット

達成目標	自然災害について知り、自分自身の命を守り、周りの人と協力して行動できる。集団活動の際の思いやりの心の育成をする。
------	--

<p>どの力を身につけようとしたか？</p> <p>—</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p><b>実践内容・方法</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>【避難訓練等】事前事後指導により自然災害について考えた。避難訓練で、「お・か・し・も」の合い言葉を中心に避難する方法や、災害時の「警報音」もいろいろな音があることを伝えながら、落ち着いて聞き判断、行動することを学んだ。</p> <p>熊本地震教材「つなぐ」(道徳)、「ぼくのかぞく」の学習を通して熊本地震を振り返り、家族や周りの人々を思う心についても考え合った。</p> <p>また、道徳科「かぼちゃのつる」の教材を通して、「大切ないのち」について関連した学習を行った。</p> <p>【学級活動】防災の手引きを活用し地震災害から身を守る学習を行った。</p> <p>【日常の活動の中で】学習の中や生活科の校内探検、遊びの時間など適宜指導を行っている。季節、時期に合わせ水の事故防止・風水害・地震・火災などについて児童と考え合う時間を作っている。また、4年生に作り方を教えてもらいながら防災ブレスレットの使い方のアイデアを出し合った。</p>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>11月の火災の避難訓練の時に（警告なしの昼休み中の火災を想定して実施したが）児童同士が話し合いながら落ち着いて避難する様子が見られた。また、上学年児童生徒と活動する中で、「自分の命は自分で守る」ことについて、自分でできることを考えた行動を意識することができるようになってきた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p> <p><b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>個別の理解力に差があり、緊急時に行動できるようにするためには繰り返し学習させていく必要がある。日常生活の中で気づかせたり具体的に擬似的に体験的に学ばせたりしていくことが大切だと感じる。</p>	



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	防災チャレンジプランの関係者の方々へ
伝えたい内容	<p>自然災害についての問いにも、子どもは、知っていることを教えてくれます。それは熊本地震を通し実体験として学んだことが多く、それを乗り越えて今があると思います。地震の時に家庭・地域で学んだことは、自分のこととして考えてきたことが今の防災知識につながっています。これからも、災害の時に落ち着いて、「しっかり考えて行動」し、「自分の命は自分で守る行動ができる」ように学習について計画していきたいと思います。手始めとして、災害後にボランティアとして取り組んでいけるような思いやりの心の育成から始めたいと考えています。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年12月20日（30年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	10
タイトル	～私たちのたからもの～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	2年担任 萩生 義幸      にじいろ担任 後藤 正順

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	3時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月（避難訓練の時間外の学習の時間）
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	11時間
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任（2名） 2年生児童（2名）
防災教育の対象者の人数	約2人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板・防災プレスレットキット

<p>達成目標</p>	<p>自然災害について知り、自分自身の身を守る方法を知る。                  集団の中で、行動を合わせて行うことができるようになる。2年生の2名の児童は学習面や生活面に支援が必要な児童である。訓練等を繰り返し行うことで、災害時考えて行動できるように力をつけたい。</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください                  適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>(避難訓練等) 避難訓練では、担任と行動しながら、避難経路や避難時に必要なことを学んだ。</p> <p>(道徳教育) 熊本地震教材「つなぐ」の活用「わたし達のたからもの」の学習を行った。</p> <p>(学級活動・生活科) 防災の手引きより風水害から身を守るを学習し、梅雨時期の6月に雨の過ごし方について学習した。7月から11月には児童生徒の通う校区や阿蘇地域をスクールバスや歩いて探検をしながら、地域の様子を学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  <div data-bbox="903 1352 1366 1525" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>阿蘇神社の様子をみてきました。</p> </div> </div> <p>(日常の活動の中で) 4年生に教えてもらって防災ブレスレットの作成。廊下を走らないなど繰り返し指導している。</p>	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>避難訓練などの際も並んで行動するようになっている。火災の様子によりハンカチを出したり、姿勢を低くしたりと行動も継続してできるようにな</p>	

	<p>っている。体験活動も意欲的に参加できた。</p> <p>(保護者との連携) 学級通信等を活用し、学習内容について伝えるようにした。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
<b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	<p>パターンで行動できるようになっている。一人にいるときでも行動できるように、定期的に学ぶ機会をつくっていきたい。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	




★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
<b>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</b>	
伝えたい相手	防災チャレンジプランの実行委員会の皆さんへ
伝えたい内容	<p>2年生は素直で元気のいい児童2名です。幼い分、日常的なサポートが必要です。今年度、校区探検を丁寧に行い、児童の気づきを校区地区ごとの地図に作製しています。校区を見回することで、地域の様子を知ることができ、安全についても考えることができました。これから、少しずつ自らの命を守ることをさらに意識付けを行っていきたいと思います。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日（30年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	11
タイトル	～災害から命を守る～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	3年担任 中山 亜紀

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月（避難訓練の時間を抜いた活動時間）
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	3時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 3年生児童
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	電子黒板・黒板、かさ、ながぐつ、レインコート



<p>達成目標</p>	<p>いろいろな自然災害について知り、それぞれの危険性について具体的に知り、避難するために（自分で考え）行動を起こすことの大切さを気づかせる。</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>【避難訓練等】事前事後指導により自然災害について考え合った避難訓練を通し、情報から判断し行動するためのトレーニングを意識し担任とともに避難の仕方等について考え合った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p>【道徳教育】熊本地震教材「つなぐ」の活用「わたしの家族」を学んだ。</p> <p>【学級活動】「風水害から命を守る」「安全な避難の仕方」「避難所生活で大切なこと」を学んだ。また、防災の手引き「火山災害から身を守るを学習した。</p> <p>【日常の活動の中で】校区探検では、自分の居住地域についてスクールバスで移動し見学をしたり地域の方に話を聞いたりした。その後、地域の安全マップを作成した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>【家庭との連携】学級通信を通し学習したことを啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことをもとに、保護者と子どもで災害時対応についての話合いの時間を家庭でもっていただいた。その後、学校に報告していただきながら災害時の対応について学校と保護者で確認し合った。（家庭で災害が起こった場合の避難先、避難経路、一人にいるときに連絡先、避難グッズ等、具体的に話し合った。）</li> </ul>	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>様々な場面で担任の問いかけにきちんと答えながら自分たちで答えを見つけられる姿勢が見られた。3年生は具体的に場面設定などを行いながら学習ができた。家庭に帰っても伝えたいなどのおもいを持つ児童もおり、日常につなげることのできる知識の習得となった。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>

<p><b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>校区が広く、目印となる建物がすくないために、校区の安全マップの作成が難しかった。反対に難しいと考えながらも作り上げる姿は頼もしく、作成しあがった児童も達成感があったようだ。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p> <p>—</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	




<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p><u>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</u></p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>防災チャレンジプラン実行委員の皆さんへ</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>3年生は仲良し4人組。学習の中でも担任の先生の質問に対し、日頃の気づきなども活発に発言することができていました。「こうしたら?」「どうしてだろ?」など自分のこととしてしっかり考える様子がみられます。地域にも目を向けながら低学年のお世話ができるように少しずつSリーダーとしての力をつけています。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	12
タイトル	服のまま水にジャブン!体が動く?動かない?? 泳ぐ力浮く力(体育学習)での命を守る工夫
実践担当者のお名前	4年担任 福島 健太 3年担任 中山 亜紀

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年9月6日
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	1時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 3/4年生児童
防災教育の対象者の人数	約8人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校 プール
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	日常着ている衣服 ペットボトル

達成目標	プール学習で、着衣のまま水の中で活動してみることで、水の中で活動する方法を学ぶ。水害の時に身を守ることができる力をつける。	
どの力を身につけよ	知識・技能	大いに

うとしましたか？	思考力・判断力・表現力	大いに
—	学びに向かう力・人間性	大いに
えいん	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通常の水泳学習</li> <li>○着衣での水泳学習</li> <li>○ペットボトルで救助体験</li> <li>○感想発表</li> </ul>	  
<b>得られた成果</b> どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	着衣のままの泳ぐことの難しさを体験することができた。救助にペットボトルで体を浮かせることができることも理解できた。水の中で服を脱ぐことも難しく重くなったズボンを脱ぐことさえ精一杯だった。洪水や水害などの時に水の事故の危険などを考える機会となった。	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
<b>課題・苦労・工夫</b> やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	衣服を着て入水するとプールの水が汚れてしまうので、プール学習の最終日を選んで実施した。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	3 / 4年生のみなさんへ
伝えたい内容	大好きな水泳学習の最後のまとめとして、着衣水泳がありました。着衣では泳ぎにくいですが、工夫しながら泳いでいたことが印象的で

	<p>した。水の中で歩くことも、服を水の中で脱ぐことも難しかったですね。ペットボトルで体を浮かす体験ができたことはこれからもずっと忘れないでくださいね。今日の授業では落ち着いて指示を聞きながら行動出来たので、水の中での活動は難しいながら確実にできたのです。実際の水害の場面では、落ち着いて行動することは難しいと思います。しかし、今日の学びは何かが起こったときに役に立つこともあると思います。災害時は深呼吸して落ち着いて行動出来るようにこれからも考えていきましょう。</p>
--	--

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日（30年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	13
タイトル	～地域防災について考える～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	4年担任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月（避難訓練の時間を抜いた学習時間）
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	13時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 4年生児童
防災教育の対象者の人数	約4人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板

<p>達成目標</p>	<p>社会科・学級活動等を通して自然災害について知り、新聞等を作成し自分なりの地域への啓発を行う。地域防災の視点を学び、地域の中で生きる人の思いを知り、自分自身ができることを考える。</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>(避難訓練等) 事前事後指導により自然災害について考え合った避難訓練を通し自らの命を守るための避難について考え行動する。消防体験など主体的参加。</p> <p>(道徳教育) ぼくのこと熊本地震教材「つなぐ」の活用。助かった命を学んだ。「ここがいい」を関連として学んだ。</p> <p>(社会) 暮らしを守る。本校の防災について施設設備を学んだ後地域防災について、ICTを活用した学びと現地学習として消防署等に行き学んだ。学習のまとめとして、一人一人の児童が新聞作りを行った。</p> <p>(南部消防署草部分駐所に見学)</p> <p>消防車や救急車の中を見学したり、設備の紹介や体験をしたりした。また、通信指令室に通報訓練もの毎日の努力と情熱を知ることができた。情報伝達の正確さとスピードにみんな驚いていた。地域の安全を守る人々の活動を知ることができた。</p> <p>みんなの命をまもってくれてるんだね！</p> <p>(学級活動) 防災の手引き、非常防災袋を作ろう。非常持ち出しグッズについて考えた。</p> <p>食べ物だけでなく、電池なども大切だよ。</p> <p>(日常の活動の中で) 防災プレスレットを通し災害について考えた。作成後は1/2年生の児童生徒に伝え教える活動を行った。</p> <p>上手にできたね！</p>	



<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>Sブロックのリーダーとして低学年のお世話はとても学習に効果的で、自分たちで学んだことをどう伝えたら分かりやすいのかなど経験を通して得た知識を振り返りながら考える機会となる。今回の防災ブレスレットや避難訓練はとても良い学びとなった。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p> <p><b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>防災ブレスレットは作成に1時間程度かかってしまった。「1度作成したら、外して1本の糸にする」これができるようになったら児童自身が自由に活用できるようになっていった。その後低学年に教えることになったのだが、低学年の児童も4年生の話をしっかり聞き活動することができた。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p> <p>—</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p><b>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</b></p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>防災チャレンジプラン実行委員の皆さんへ</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>4年生は男の子4人組です。初めての組紐に四苦八苦していました。完成し低学年児童に教えるころには達人？になりここにこご笑顔で教えることができていました。また、4年生はタブレットを活用し、防災に関する学びを新聞にまとめました。学びを整理し表現する。この過程が4年生の学習に深まりを与えていると思います。</p>



## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	14
タイトル	～わたしにできること～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	5年担任 松永 ゆか

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	16時間
実践活動を実施した日時	2018年
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	16時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 5年生児童
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第1棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板

達成目標	自然災害について知り、災害を最小限にするための方法について考えあおう。
------	-------------------------------------

どの力を身につけよう としましたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	<p>【避難訓練等】事前事後指導により自然災害について考え合った避難訓練を通し、自分や周りの人の命を守ることを考え行動した。</p> <p>【道徳教育】熊本地震教材「つなぐ」の活用「わたしにできること」</p> <p>【理科】天気の変化・台風と天気の変化</p> <p>【学級活動】(防災の手引き・防災マップを見てみよう。</p> <p>【家庭科】片付けよう みのまわりのもの</p> <p>【社会】自然災害を防ぐ(2時間)</p> <p>【体育】けがの防止(2時間)</p> <p>【日常の活動の中で】防災プレスレット作成</p>	  
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	教科の中で、自然災害について学ぶ機会が多くあった。様々な視点から防災について学べたことは、5年生にとって自分たちができることをしっかり考える機会となった。	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	防災について、熊本地震の経験を通し学ぶことができた。身近なテーマで防災について考えることも多く自分人のこととして一人一人が真剣に考え取り組むことができた。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	




<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</p>	
伝えたい相手	5年生へ
伝えたい内容	いろんなときに落ち着いて行動できる5年生。物事をしっかりと見つめることのできる力はすごいと思います。防災について、身近なこととして考えたことはこれからの生活にも生かすことができます。ぜひ、今回学んだことを、周りに伝え広げてほしいと思います。これからも防災について考えていきましょう。

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	15
タイトル	～私たちのうまれた町～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	6年担任 北 慎一郎

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月(避難訓練外の時間)
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	数時間(避難訓練外の学習時間)
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 6年生児童
防災教育の対象者の人数	約7人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板

達成目標	自然災害について知り、防災について考えていくことで、自分たちができることを考え確認し合おう。
------	--

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
<p><b>実践内容・方法</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>【避難訓練等】 事前事後指導により自然災害について考え合った避難訓練を通し、自分や周りの人の命を守ることを考え行動した。</p> <p>【道徳教育】 熊本地震教材「つなぐ」の活用「こわれたおじいちゃんの家」「僕たちの運動場」(3時間)</p> <p>【理科】「土地のつくりと変化」(11時間)</p> <p>どのようにして土地が作られるのかを理科の時間を通して学習をした。また、土地が変化する上でさまざまな被害が出ること、その自然と共存するためにどのような取り組みが必要なのかを各自調べ発表して共有した。その後、地域に着目をし、阿蘇火山の噴火のメカニズムや高森東地区の土地のつくりと特徴を学習した。専門施設との遠隔合同授業を行い、理解を深めていった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div> <p>【学級活動】 防災の手引き・我が家の防災対策、避難所生活で私たちができること (1時間)</p> <p>【社会】 復興の願いを実現する政治 (7時間)</p> <p>【日常の活動の中で】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災ブレスレット作成。</li> <li>○防災手帳作成</li> </ul>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>教科の中で、自然災害について学ぶ機会が多くあった。様々な視点から防災について学べたことは、6年生にとって自分たちができることをしっかり考える機会となった。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦勞・工夫	自然災害について、地球のつくりからなぜ自然災害が起こるのかという	

やって見てわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	ことも含め、一連の流れの中で考えていくことができた。
---	----------------------------

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について —	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	




★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ 1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	6年生へ
伝えたい内容	避難所のことなど、熊本地震を通して気づいたことなどの経験をもとに意見を出したり考えあたり出来ていました。みんなが気づいたように、これから自分の命だけでなく周りの人を助けたり支えたりすることも多くなっていきます。防災についてこれからも考えていきましょう。

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	16
タイトル	～私たちのうまれた町～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	6年担任 北 慎一郎

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月(避難訓練外の時間)
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	数時間(避難訓練外の学習時間)
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 6年生児童
防災教育の対象者の人数	約7人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板

達成目標	自然災害について知り、防災について考えていくことで、自分たちができることを考え確認し合おう。
------	--

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
<p><b>実践内容・方法</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>【避難訓練等】 事前事後指導により自然災害について考え合った避難訓練を通し、自分や周りの人の命を守ることを考え行動した。</p> <p>【道徳教育】 熊本地震教材「つなぐ」の活用「こわれたおじいちゃんの家」「僕たちの運動場」(3時間)</p> <p>【理科】「土地のつくりと変化」(11時間)</p> <p>どのようにして土地が作られるのかを理科の時間を通して学習をした。また、土地が変化する上でさまざまな被害が出ること、その自然と共存するためにどのような取り組みが必要なのかを各自調べ発表して共有した。その後、地域に着目をし、阿蘇火山の噴火のメカニズムや高森東地区の土地のつくりと特徴を学習した。専門施設との遠隔合同授業を行い、理解を深めていった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <p>【学級活動】 防災の手引き・我が家の防災対策、避難所生活で私たちができること (1時間)</p> <p>【社会】 復興の願いを実現する政治 (7時間)</p> <p>【日常の活動の中で】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災ブレスレット作成。</li> <li>○防災手帳作成</li> </ul>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>教科の中で、自然災害について学ぶ機会が多くあった。様々な視点から防災について学べたことは、6年生にとって自分たちができることをしっかり考える機会となった。</p>	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫	自然災害について、地球のつくりからなぜ自然災害が起こるのかという	



<p>やってみてわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>ことも含め、一連の流れの中で考えていくことができた。</p>
--	-----------------------------------

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	


<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ 1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>6年生へ</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>避難所のことなど、熊本地震を通して気づいたことなどの経験をもとに意見を出したり考えあたり出来ていました。みんなが気づいたように、これから自分の命だけでなく周りの人を助けたり支えたりすることも多くなっていきます。防災についてこれからも考えていきましょう。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	17
タイトル	～語りかける自然に目を向ける～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	7年担任 石井 佑介

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月(避難訓練外の学習)
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	11時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任 7年生生徒
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第1棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板

達成目標	自然災害についての学びを深めることで、災害の現象を理解する。 災害から、自分の命を守り、周りの人と助け合いながら活動する意識を高める。
------	--

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
<p><b>実践内容・方法</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>【避難訓練等】事前事後指導により自然災害について考え合った避難訓練を通し、自分や周りの人の命を守ることを考え行動した。</p> <p>【道徳教育】熊本地震教材「つなぐ」の活用「ありがとう」「語りかける写真」</p> <p>【学級活動】安全な町づくりへの参加 手引き・地震・津波災害に備える</p> <p>【社会】人々の生活と環境</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(6時間)</p> <p>【理科】大地の変化(3時間)</p> <p>火山のメカニズムについて学習をした。阿蘇火山や桜島、雲仙普賢岳の火山灰など、身近な火山を扱うことで子ども達の興味をひきつけた。地震発生のメカニズムについては、今後熊本地震と関連づけながら学習を進める予定。</p> <p>【技術】工具の安全な使い方(2時間)</p> <p>【日常の活動の中で】防災ブレスレット作成(1時間)</p>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>災害の原因となる事象について、教科等に関連しながら学ぶことができた。日常の中でも、自然や環境に目を向けることができるようになり物事を見つめる視野が広がったように感じる。</p>	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>海が遠いこともあり津波の被害については、メディア等の情報を活用しても、危機感を感じることは難しいと感じる。学習を深めながら気づきを豊かにしていきたいと思う。</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</p>		
伝えたい相手	7年生へ	

伝えたい内容	自然豊かな東校区の中で過ごす私たちにとって、自然は安心や安らぎの場となっています。熊本地震災害から時がたつ毎に、災害の怖さも遠のいている気がしますね。いつ起こるか分からない災害について学びを深めながら、自分自身が「できること、しなければならないこと」を考えていきましょう。
--------	--

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	18
タイトル	～自然災害を見つめる!向き合う力を私たちに～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	8年担任 松永 武人

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数時間
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月(避難訓練外の学習時間)
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	9時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任・副担任 8年生生徒
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板

達成目標	自然災害について様々な視点から考え合うことにより、自分自身ができる自他を守る行動を起こす力の大切さを
------	--

<p>どの力を身につけようとしたか？</p> <p>—</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>(避難訓練等) 避難訓練事前提案前に、生徒に計画を考えさせた。自然災害について考えあうことで、災害の状況から自分たちの命を守る為の工夫について、考えた。</p> <p>(道徳教育) 祖父の涙(熊本地震教材「つなぐ」)の活用) 祖父の涙の意味をじっくり考えさせる中で、より良く生きるためにどうすればよいかについて考えを深めさせた。地震による体験談を交え、5人で意見を出し合い、他者の意見を聞き入れながら、自分の意見をまとめてくれた。</p> <p>(学級活動)・避難所ケース学習</p> <p>○校内研修①</p>  <p>○大地学習：防災に関する学習や取組の理由や目的の確認</p>  <p>修学旅行で防災未来センターに行くため、その事前学習として防災学習に取り組んだ。繰り返される被災から学びを得ていかなければならない。それは、命を守るための教育であるという事を伝え、授業に取り組んだ。プロジェクトXの視聴教材も活用しながら、自助・共助・公助の視点で取りくんだ。</p> <p>(家庭科) 住生活と自立・・・校内研修②</p>	



- (美術) 啓発ポスター作成
- (技術) 機器の安全な利用
- (社会) 日本の様々な地域、身近な地域調査
- (理科) 気象の仕組みと天気の変化

気象観測をしながら、天気の変化について学んだ。気象観測をするために、さまざまな技術が使われていること、予測を通して、未然に災害を防ぐ取り組みが行われていることを学習した。今後、日本の気象の特徴について学習を進める予定。

- (国語) 小さな町のラジオ発信
- (保健体育)

自然災害による被害の発生と、自然災害への備えと発生時の行動について学習を行う予定。熊本による地震被害から、身近な問題として受け止め、理解や実践力を身に付けさせるよう、学習を進めていく。

(日常の活動の中で)

- 学級活動・なぜ防災ブレスレットの意味、願い  
防災ブレスレットの作成

保健指導主事を中心とし、防災ブレスレットの作成を実施した。身近な物が、緊急時には効果的に活用でき、時に命を救う道具となることを知識として理解し、ブレスレットの作成を通して実践力も身につけた。



- 高森ポイントチャンネル火災予防啓発ビデオの作成
- 防災リーダー打ち合わせ会

**得られた成果**  
どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください

防災についての校内研修では、家庭科や学級活動の時間などに行われた。生徒自身の学習としてだけではなく、参加した教員にとっても学びの時間となった。専門家からの防災についての願いを含め具体的に災害時の活動

	の様子や防災・減災で大切なことを教えていただき、自分なら何ができるかを含め行動につながるような思考の時間を作ることができた。	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	本校のリーダー的存在で活動することができた。 活動時間を確保することが難しく、単発な取組になってしまったので、防災委員会をつくるなど工夫が必要だったと思う。生徒数が少ないため委員会などでの活動も難しかった。	

<b>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</b>	
—	
関係者の名前・団体名	阿蘇広域消防署 職員 薄井 氏
関係者の説明	
関係者の連絡先	

<b>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</b>	
<b>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</b>	
伝えたい相手	8年生へ
伝えたい内容	<p>防災について興味や関心を持ち取り組んでくれました。学校内外の防災についてもしっかりと考え行動してくれましたね。</p> <p>2回の校内研修や日常の学習を参観することで私たち参加者も防災について考える機会となり、全員で考えていかなければならないことにつながっていきました。これからも、リーダーとして頑張ってもらいたいと思います。</p>







## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日（30年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	19
タイトル	～高森東の明るい未来のために～ 防災に関する訓練や学習の中で学んだこと
実践担当者のお名前	9年担任 吉田 沙也加

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数日（授業時間外含む）
実践活動を実施した日時	2018年4月～12月（避難訓練外の活動時間）
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	数日
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	学級担任・副担任 9年生生徒
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県（高森町）
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第1棟・第2棟、高森中学校
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ・電子黒板・黒板・タブレットPC

達成目標	自然災害の現実について知り、中学生の自分たちにできることがあるという地震や勇気を持てる学習や体験活動を実施する。
------	--

<p>どの力を身につけようとしたか？</p> <p>—</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>(避難訓練等) 自らがリーダーとなり、周りと強調しながら避難ができるように心がけた。災害をイメージしながら自分がどのように動くことが大切なのか自分たちがすべきことや誰かの力になることができることを確認した。</p> <div data-bbox="1082 443 1342 600" style="text-align: center;">  </div> <p>(道徳教育) 熊本地震教材「つなぐ」の活用「全国からのエール」「正念場だもん」「よみがえれ阿蘇神社」</p> <p>4月16、17日に発生した熊本地震の時期に合わせて、授業を実施した。チャリティーリレーマラソンの取り組みと合わせ、たくさんの人に支えてもらっていること、そして地域が努力をしていることを知った。その後、自分たちができることは何か考える取り組みへとつなげていった。</p> <div data-bbox="491 958 1070 1146" style="text-align: center;">  </div> <p>(理科) 「地球の明るい未来のために」(3時間)</p> <p>調べ学習を通して様々な自然災害について学んだ。自治体で創られているハザードマップや火山博物館が作成している防災マップを活用し、自然災害が身近なものであること、自然と共存するためにさまざまな取り組みが行われていることが学習した。たくさんの災害がある一方で、多くの恩恵を受けながら自分たちの生活が成り立っていることも合わせて学習した。</p> <div data-bbox="512 1529 762 1709" style="text-align: center;">  </div> <p>(英語) To Our Future Generation (12時間扱い)</p> <p>災害の緊急事態にどうする行動するのか、避難の時に必要な物や行動等について英語を使い学習を進めた。その後東日本大震災の例文で、流木を使い学期を作り音楽でのメンタル面でのサポートや全世界を回り復興支援をしていることを英語学習を通し学んだ。</p>	

	<p>(日常の活動の中で) 防災ブレスレット作成</p> <p>防災に関するさまざまな活動を行っていることを想起させ、その後防災ブレスレットを作成した。通学カバン等につけ、利用している生徒も多い。</p>  <p>(その他) 各関連教科の中で学習をすすめた。 (東京×東北×熊本チャリティーリレーマラソン参加)</p> <p>被災地支援のために、災害についての学習から、募金活動、支援について考え合い、災害があった地域への支援活動を行った。</p>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>様々な視点から災害について考えることで、自然災害について知り、自分でもできる活動があることを確認することができた。本校のリーダーとして率先して動ける力をつけることができた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p> <p><b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>生徒が主体的に、自然災害から学んだことについて、ボランティア活動等を通し考え合うことで学びが深まっていった。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>公益社団法人 日本フィアンソロピー協会</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>市民、団体、企業のフィランソロピー（社会貢献）活動を啓発、啓蒙するとともに、ボランティア活動、公益活動への関心を深め、より良い社会の醸成に寄与する事業を行っている。</p>
<p>関係者の連絡先</p>	<p>〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-1-1 新大手町ビル 244 区 TEL : 03-5205-7580</p>

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	9年生へ
伝えたい内容	1年間、様々な活動のリーダーとして率先して動く姿を頼もしく感じていました。6人で考え合った時間は、これから社会に出て行くときにも大きな力となると思います。自然災害の怖さ、自然と向き合うこと、人と人とのつながりの温かさ・・・など今回学んだことをつなげて深めていってほしいと思います。

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	20
タイトル	～地域の中で自分の役割を果たす～ ボランティア活動をしながら、自分の住んでいる周りの様子 を見てみよう!
実践担当者のお名前	各地域担当

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でか かった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時 間→数時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年8月
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	3時間
実践の運営側で動いた人の人数	1人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	
防災教育の対象者の人数	約5人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	各スクールバス乗り場周辺 地区公民館
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	

達成目標	自分の住む地域に目を向け、自然について観察する。 地域の方々との交流を深め、防災についての取組に積極的に参加する。
------	--

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	<p>○地域ボランティア活動・・スクールバス停を中心に掃除活動を行いながら地域の危険箇所等について確認し合った。</p> <p>○地域防災活動への参加（公民館への避難訓練、救急救命法訓練）</p> <p>地域で震災を想定した避難訓練に参加した。その後地域の方々と心肺蘇生法の体験を行った。</p>	
		
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	<p>地域の方々との避難訓練は、おじいちゃんおばあちゃんとの交流もでき、子ども達は自分自身ができることを考えながら活動することができた。</p>	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	<p>地域の方々が協力的で、子ども達は地域で学んでいることが多くあります。地域にもよりますが、避難訓練を恒例にし取り組んでいる地域もあり、取組後学校に連絡があります。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

<b>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</b>	
<b>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</b>	
伝えたい相手	地域の方々へ
伝えたい内容	熊本地震の時、子ども達は地域の方々のことをしっかり見てきました。避難所での生活も、大切な経験になっており防災教育の中で思考がつながることが多くありました。学習中もいろいろなアイデアや思いが子ども達からたくさん出ること、地震の際に地域の方々やご家族の方々から安心や勇気をたくさんいただいたからだと思います。

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	21
タイトル	～地域力にお任せあれ! JA チャグリ活動～ 防災体験活動にチャレンジ! 楽しい・おいしい・真剣
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

	なし
実践の準備にかかった時間 <small>例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間</small>	30分
実践活動を実施した日時	2018年7月20日9時～14時30分
実践の所要時間 <small>例:2時間×2日=4時間</small>	5時間30分
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 <small>非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)</small>	JA 阿蘇営農部企画課、JA 高森女性部、青年部、PTA 教職員、親父の会
防災教育の対象者の人数	約25人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	飲み物・カラーライス・ペットボトル・段ボール・おかし・ カラムーチョサラダ・ヒジキ缶コーンサラダ・豆乳ケーキ・ 手作りアイス・カップラーメン他 JA チャグリ冊子



<p>達成目標</p>	<p>JA チャグリン活動をとおり、災害時に知っておくと便利な知識を体験しながら得る。</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p>—</p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>○ワールドカフェ（本校が避難所となった場合に必要な物・食料・約束・環境にテーブルを分けて、喫茶店で話し合う雰囲気を作りグループ会議）</p> <p>○開会・説明</p>  <p>【防災グッズ作成】</p> <p>(1) 段ボールテーブル作り・・・大きな段ボール箱をおカッター等で切り合わせながら、テーブルの作成。工夫しながら組み立てていた。</p> <p>(2) ペットボトルシャワー作り・・・ペットボトルのふたに穴を開けてシャワーを作った。使い方について説明があった。(穴の大きさや数により使い方を変える豊井などアドバイスもあった)</p> <p>(3) 非常食作り</p> <p>①カラムーチョサラダ作り・・・カラムーチョとシーチキンとマヨネーズでサラダを作成。</p> <p>②缶詰サラダ・・・コーンとヒジキの缶詰でサラダを作成</p> <p>③蒸しパンづくり・・・ホットケーキミックスと豆乳で蒸しパンづくり・・・栄養などの話が合った。</p> <p>④ボトルアイス作り・・・コーヒー缶を作成用の入れ物にした。牛乳、生ク</p>	

	<p>リーム、砂糖、卵黄などを入れ、コーヒー缶を良く振り、氷と塩で周りを冷やしアイスクリームを作った。</p> <p>⑤水で作るカップラーメン・・・時間はかかるが、暑い夏にはとてもおいしい食べ物になることが分かった。</p> <p>非常食については、材料とビニール袋等を使い作成するので簡単に作ることができる食べ物があることを知る機会となった。「家庭で作ってみよう」という声も多く聞かれた。</p> <p>(4) お昼の活動                  配給体験・・・カレーライス・地元でとれた野菜のサラダ                  避難所体操・・・にこにこおにぎり体操</p> <p>(5) 防災クイズ                  JA チャグリンの防災に関する手帳をもとに                  避難の仕方等についてのクイズを出していた。                  いただいた。</p>	
<p><b>得られた成果</b>                  どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>今年度は「防災をテーマ」にたくさんの方々のサポートをうけ実施することができた。防災についてのたくさんの情報を子ども達は知り考えることができた。段ボールテーブルでは足の位置で子ども達の興味を引いていた。どこに位置することが効率よいのか強度が出るのかなど会話を通して解決していく姿が見られた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？  <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u></p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>ワールドカフェは時間が短くアイデアを出し合うだけに留まり意見交流の時間を持つことができなかったため、時間を見つけて出された内容を児童生徒に検討させる時間を持ちたい。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p> <p>—</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>高森町ポイントチャンネル</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>高森町テレビ放送</p>
<p>関係者の連絡先</p>	<p>高森町役場 0967-65-1111</p>

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください


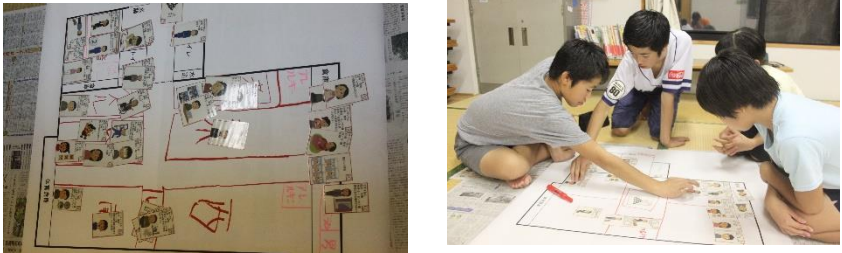
伝えたい相手	ファシリテーターの工藤さんへ
伝えたい内容	<p>今回のイベントの企画から、関係組織の連絡調整など適宜行っていた          いただきありがとうございました。「人をつなぐ、思いをつなぐ」ことの大切さを工藤さんに教えていただきました。参加した児童生徒も参加して良かったという声がたくさん聞かれました。今回ご提案いただいた内容は、災害の時に限らず日常家庭で留守番をして過ごす子ども達に笑顔をもたらす物となりました。「アイデアを出し応用することで自分でも何でも作ることができる」そう感じた児童生徒もいて、話しながら積極的に作成をしていました。たくさんの方々にサポートや、非常食や段ボールテーブル、ペットボトルシャワーなど説明を加えながら作り方を丁寧に教えていただき児童の心の中にきちんと知識として残りました。温かさや優しさを十分にいただきながら楽しく安心して学習できるイベントをありがとうございました。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	22
タイトル	～避難所に来るいろいろな人の思いによりそって～ 避難所運営体験ゲームを通して考え合ったこと
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年8月28日 午後6時30分～午後7時30分
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	1時間
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	教職員、6・7年生
防災教育の対象者の人数	約 20人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟 ミーティングルーム
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	広用紙・マジックペン・避難所来場者カード・黒板

達成目標	学校が避難所になった場合に、どのような運営をすることが大切なのか、施設面・来場者の抱えている状況(年齢や病気・個性など)への必要な配慮などを考えながら運営について考える。助け合い・思いやり・支えあいの大切さを実感できるようにする。
------	---

<p>どの力を身につけようとしたか？</p> <p>—</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>○避難所運営体験ゲームの説明</p> <p>○必要な広用紙（体育館やミーティングルーム・玄関等施設図）を広げる。</p> <p>○指導者は来場者カードを見て紹介をしながら、各班にカードを渡していく。</p> <p>○カードをもらったら、施設を避難所にするための割り振りを考えていく。（人・場所・位置等）</p> <p>○支援物資について考える</p> <p>○意見交換・感想発表</p>  	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>実際の人の動きでの体験ではないが、広用紙とカードを使いながらも、来場者一人一人が生活しやすいような工夫を考えあっていた。いろんな思いを持っていること、病気やけが、年齢・過程背景など配慮が必要だということも考えることができた。「～考えて～しようと考えた」など具体的に説明や気づきについて説明することができており効果的な学習となった。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p><b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>1時間の学習時間ではもったいないように感じた。あと少し時間をとりじっくり考えると、児童生徒からさらに児童生徒の意見の練り合いや気づきも多く引き出すことができたのではないかなと思う。</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p><b>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</b></p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>東学園を避難所として来校される皆様へ</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>児童生徒が「避難所」についてしっかり考える力がついてきています。それ以上に気づくことは会話の中に見える「本校の児童生徒の思いやりや優しい心」です。きっと、各地域の避難所でも自分で考え、行動できる東っ子を見ることができると思います。</p>	

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	23
タイトル	かつこいいぞ!地域の見方!緑レンジャー! 消防体験活動を充実させるために(打ち合わせ会議)
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太
実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	10時間
実践活動を実施した日時	2018年10月25日~11月30日
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	5時間
実践の運営側で動いた人の人数	10人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	地域住民(親父の会)・社会人/一般(高森町2区消防団) 防災関係者(消防所・高森町防災官) 社会福祉協議会の方々
防災教育の対象者の人数	約10人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	高森町2分団消防団、親父の会、高森町防災官・PTA 火災に対する消火訓練(消火体験・防災グッズ選別・車いす、タンカの使用・消防車・水消火器・バケツ等使用)
達成目標	消防体験を通し、火災の防止や地域で頑張る大人の姿をみせることで防災についての学びを子どもたちに伝える。子ども達自身にもできる活動があるんだということを考えさせる。

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	<p>11月30日の消防体験についての事前打ち合わせとリハーサルの実施 運営委員会の実施・・・夜の空き時間を利用し、会議と練習 (消防体験について検討) ゲームを通し、リレー形式で防災訓練・体験活動の流れの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者、各立場での動きの検討</li> <li>・当日の流れや会場・準備物などの検討</li> </ul> <p>TPC（高森ポイントチャンネル）に活動の様子やメッセージ 地域の消防団・親父の会として地域の方々へメッセージ</p>	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	<p>11月30日の火災避難訓練ではスムーズに活動することができた。体験活動の一連の流れの中で、児童生徒は災害が起こった時をイメージし考えながら活動ができた。地域で頑張ってる消防団や親父の会の方々の姿は「自分たちもできることをみつけて行動することが大切だ」という気持ちを子ども達に根付かせることにつながった。</p>	
どのくらい身につきましたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	<p>本校地域の協力体制の良さを改めて実感した。取組に関しても意見が多く出され、積極的に計画等を準備され、会議では提案が行われた。その際も、アイデアの交流が行われた。</p>	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	JA 阿蘇営農部（園田・佐藤）	
関係者の説明	JA チャグリンの運営（計画～実施）防災に関する体験・学習	
関係者の連絡先		
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		

関係者の名前・団体名	JA 阿蘇高森女性部（工藤）
関係者の説明	防災チャレンジプラン ファシリテター
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	親父の会 代表（工藤）
関係者の説明	高森東校区親父の会 防災についての啓発活動
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について__	
関係者の名前・団体名	野尻草部分駐在所
関係者の説明	分駐所職員・消防士（分駐在所長 遠山）
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について__	
関係者の名前・団体名	高森東学園義務教育学校 PTA 会長
関係者の説明	保護者の代表として参加
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	高森町役場総務課 防災官（岩下）
関係者の説明	防災に関するアドバイザー
関係者の連絡先	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	この報告書を見ていただいている方々へ
伝えたい内容	高森東は1つ！チーム一丸となり取組を進めています。児童生徒を中心に、教職員・保護者等関係する、すべての関係者で地域防災への力をつけていく取組を目指しました。連携・協力が実践の機動力になりました。社会福祉協議会の防災ボランティアの方が親父の会や消防団などの動きや子どもたちの動きを確認し合っておくことがとても大切だと話されていました。とてもよい活動の機会になったと思います。





## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	24
タイトル	～突然の緊急連絡、火災避難訓練～ 自ら考え行動出来る力を身につけよう
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	30分
実践活動を実施した日時	2018年11月30日13時30～13時40分
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	10分
実践の運営側で動いた人の人数	3人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	児童生徒
防災教育の対象者の人数	約50人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第1/2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ 段ボール 絵の具 ペットボトル カッター —

達成目標	昼休みの活動中に「火災発生」の放送。落ち着いて放送を聞き避難経路を考えて安全に避難する。	
どの力を身につけよ	知識・技能	大いに

うとしましたか？ _	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>○昼休みの活動中に「火災発生」の放送</p>   <p>【職員の動き】各担当の役割を果たす。児童生徒安全班（児童生徒の誘導・安否確認）、救護班（傷病者への対応）、災害対策本部（状況の把握・指揮）災害対策実働班（災害現場での初期対応）被害状況確認班（残留児童生徒の確認及び危険箇所等の把握）等、災害発生後の活動を行った。</p> <p>【児童生徒の動き】放送をよく聞き、避難について考える お・か・し・もを守り行動する</p> <p>【集会活動】</p> <p>○運動場の避難場所に整列。点呼。人員の確認。 ○校長先生からの話・・・避難訓練を振り返って ○講評・・・高森町防災官 岩下氏</p>	
得られた成果	<p>全員放送をきちんと聞き行動出来た。戻ることやあわてて行動する児童生徒は見られなかった。避難の状況の確認ができたので今回のことを誉めながら、防災についての意識を高めていきたい。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦勞・工夫	<p>昼休みの時間を活用した避難訓練だったが、今後もこのようなパターン化した避難訓練ではなく学ぶ目的を絞った計画の実施を心がけていきたい。</p>	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	高森町役場 防災官 岩下 様	
関係者の説明	防災に関しての相談役	

関係者の連絡先	高森町役場 62-2111

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	1年の児童のみなさん！
伝えたい内容	<p>1年生にとっては火災の避難訓練は初めてでしたね。放送を聞いて教室にいたお友達と並んで避難することができていましたね。今日のように突然に緊急放送がなったり、もしかすると教室に先生方がいなかったり、一人だったりすることもあるかもしれません。</p> <p>今日の訓練では、放送を落ち着いて聞いて、あわてることなく行動が出来ていて感心しました。災害のような突然のできごとはいつ起こるか分かりません。これからも一緒に勉強していきましょうね。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	25
タイトル	～地域力★防災5レンジャー出動～ 火災を防ぎ火災から命を守る。 地域みんなの安心安全を!
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	5時間
実践活動を実施した日時	2018年11月30日13時30分～15時10分
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	1時間40分
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	1～9年生児童生徒 教職員 保護者 高森東2区消防団 親父の会 高森町防災官 社会福祉協議会
防災教育の対象者の人数	約 42人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ 消防車 防災グッズ 毛布 支柱 水消火器 車いす バケツ 保水槽 講師謝礼

達成目標	火災避難訓練の一連として、消火体験を体験することで防災意識の向上を図る。地域の大人の防災への思いや活動の様子を見て体験することで、児童生徒自身が防災について考え「行動できる・行動しなければな
------	---

	らないこと」を考え主体的に活動する機会を作る。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
—	思考力・判断力・表現力	大いに
—	学びに向かう力・人間性	大いに
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>(事前打ち合わせ) 関係者で集まり実施についての目的・目標と実施内容の確認</p> <p>(事前練習) 消防団・親父の会・社会福祉関係者(当日の活動)</p> <p>昼休み、予告なしの火災避難訓練後(避難・安否確認・学校長からの講評・高森町防災官からの講評)に実施</p> <p>(1) 説明</p> <p>(2) 親父の会による火災消火訓練・体験の実施</p> <p>リレーゲームを通じた体験学習・縦割り班で4班に分かれ活動</p> <p>◆スタート</p> <p>①防災グッズの選定・防災バックに詰めて移動</p> <p>②毛布と2本の棒で担架を作成し要介助者を避難移送</p> <p>③車いすに乗せ移送</p> <p>④水消火器で消火・消火器を使い消火訓練</p> <p>⑤バケツリレー・・・プールの水をバケツで汲みながら、簡易防火水槽に水をためる</p> <p>(3) 消防団による操法訓練見学・消火体験</p> <p>(4) 消防団長による講話</p> <p>(5) 質問・感想発表</p> <div data-bbox="1209 566 1422 667" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="472 1397 1129 1816" style="text-align: center;">  </div>	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>学校職員だけでは実践できなかった体験活動を実施できたこと。児童生徒が体験的に学ぶことができこれからの防災力につながったこと。消火体験に関係した一人一人が防災について考え、心が一つになる活動となったこと。地域の防災活動の啓発や訓練(親父の会・消防団等)や連携の機会と</p>	

	なったこと。生徒の感想でも「小さい子どもや高齢の方がいたら手伝いたい」「重い荷物があれば自分から持ちたい」など自分自身の命を守るという防災の視点が周りに目を向け自分で判断し行動する意識の向上につながった。	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	親父の会や消防団の方々が休日や夜に集まり、事前の検討や準備を繰り返し実施して当日を迎えた。必要物品についても高森町防災関係の方々が準備してくださった。当日は保護者の協力もあり児童生徒の実りのある学習につながった。地域の協力体制で運営がうまく進んだ。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	高森町ポイントチャンネル
関係者の説明	高森町テレビ放送
関係者の連絡先	高森町役場 0967-65-1111
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	高森町役場 総務課防災官
関係者の説明	今年度の防災活動に関し協力やアドバイスをいただいている
関係者の連絡先	高森町役場 0967-65-1111
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	高森町高森東地区 親父の会
関係者の説明	親父の会 児童生徒の活動にも協力的に活動
関係者の連絡先	高森東学園 保護者 工藤
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
—	
関係者の名前・団体名	高森町社会福祉協議会 渡辺

関係者の説明	地域のボウランティア活動など積極的に行っている。防災に関して組織を動かす力に長けているかた
関係者の連絡先	高森町社会福祉協議会

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	防災チャレンジプラン運営委員会の皆さんへ！
伝えたい内容	<p>今回は防災5レンジャーの関係者が集まりました。参加している一人一人がじっくり防災について体験し考え主体的に活動することができました。体験活動する児童生徒や教職員、運営する親父の会、サポートする保護者や教職員、指示をする消防団や防災官、全体の流れを指揮する社会福祉協議会の方々。一連の流れの中に児童生徒の思考を揺さぶる活動が多く、体験を通して災害時に「何が必要なのか」としっかり考えることができていました。他組織の方々の協力があったからこそ今回の取組。社会福祉協議会の方が、事前打ち合わせで「親父の会や消防団に実際の災害の時に動ける力をつけたい」とつぶやかれていました。今回の実践を通し、地域防災活動のつながり深まりのきっかけになったのではないかと思います。何より、地域で頑張る大人の7熱意をしっかり受け止めていた児童生徒の心は安心と勇気で満たされ、自分の命を守る・自分でできることをする・思いやりの心を防災の学びから得たと思います。</p>


## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	26
タイトル	～防災リーダーから地域の皆さんへ ワンポイントアドバイス～ 火災を防ぎ火災から命を守る
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

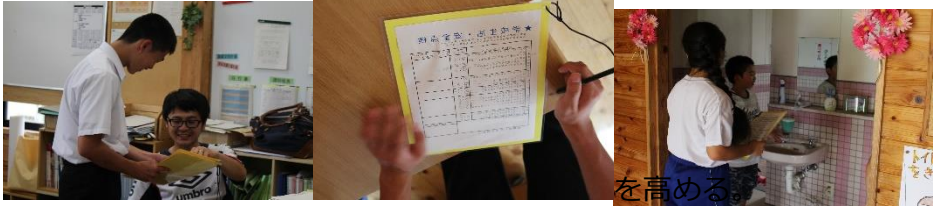
実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	30分
実践活動を実施した日時	2018年11月30日13時～13時30分
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	30分
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	8年生 防災リーダー 4名
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ビデオカメラ

達成目標	火災について今まで学んできたことや、地域の方々に伝えたいメッセージを TPC (高森ポイントチャンネルの番組) を活用し広げる。
------	--



どの力を身につけよう としましたか？ —	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	防災リーダーのメッセージビデオ作成 ○防災リーダーからのメッセージを伝える ・火災を防ぐために ・火災に遭ったときの対応（ワンポイントアドバイス） ・これからの時期の注意についてのお願い 上記についてビデオに録画しTPCに編集を依頼し放送していただく。	
得られた成果	自分たちで学んだことを地域に伝えるということで、リーダーとしての意識を持ち活動することができた。	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫	事前準備の時間が十分にとれなかったためメッセージビデオに留まった。	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	高森町ポイントチャンネル	
関係者の説明	高森町テレビ放送	
関係者の連絡先	高森町役場 0967-65-1111	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ 1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください		
伝えたい相手	防災リーダーの君たちへ！	
伝えたい内容	防災に関する1つ1つの課題について丁寧に取り組んでいることは、きっと周りの人たちへ思いが伝わります。学びを伝え広げ、東校区の防災を考えるリーダーとして取組を継続してください。そのために、先生方や親父の会・PTAの皆さん、地域の方々と連携しながら学校外へも視野を広げた防災についても考えていきましょう。君たち行動が地域を守る防災力となります！中学生の力はすごいのです！	

**実践したプランの内容と成果**

記入日	2018年11月30日（30年度のチャレンジプラン）	
実践団体名	高森東学園義務教育学校	
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	27	
タイトル	～安心安全★僕たち私たちの学校～ 児童生徒で学校内を点検する	
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太	
実践にかかった金額	なし	
実践の準備にかかった時間	30分	
実践活動を実施した日時	2018年10月5日 2月予定	
実践の所要時間	30分	
実践の運営側で動いた人の人数	2人	
防災教育の対象者の属性	児童生徒	
防災教育の対象者の人数	約42人	
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町	
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	安全点検表	
達成目標	<p>防災リーダーと縦割り班活動により、自分たちが使っている学校の施設内の安全について、校内を巡りながら安全点検（視診・打診・動かす等）を行うことで安全確認や安全な行動についての力をつけるとともに、学校を大切に思う心を育てる。他学年児童生徒の気づきや意見の交流により、自主的な活動力・防災力をつけ防災チームとしての結束力をつける。</p>	
		
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
—	学びに向かう力・人間性	大いに



<p><b>実践内容・方法</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>各掃除担当場所を検査項目に従い点検を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○縦割り班の掃除班メンバー（1～9年）で協力して点検を行う</li> <li>○点検後防災リーダーに点検表を渡し、防災リーダーが確認する。</li> <li>○確認したことを防災主任（教諭）に報告を行う。</li> <li>○防災主任は教職員の安全点検と児童生徒の行った安全点検結果を確認し評価を行う。</li> </ul>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>日常意識して見ないと確認できない「安全」「危険」について安全点検を通し、児童生徒どうして確認し合うことができた。安全点検では直接見て触って動かして音を聞いて丁寧に点検ができていた。児童生徒が声で確認し合いながら点検ができたことは日常の中の安全・危険の把握の力につながると考える。落下物など日常的にも気づいたことをまず自分で確認し、教職員に伝える力がついてきている。また、防災リーダーから防災担当への報告も改善すべき点など全児童生徒からあがった意見を集約しての報告であり、リーダーとしての意識も高まった。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p> <p><b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p>ましたか？</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p>ましたか？</p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p>	<p>9年過程の学校となったことで、全体での動きとしての安全点検の時間を持つことが難しく、学期に1回しか実施できなかった。時間の確保について検討していきたい。（2回目は2学期末に実施予定）</p>	
<p><b>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</b></p> <p><b>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</b></p>		
<p><b>伝えたい相手</b></p>	<p>校長先生へ</p>	
<p><b>伝えたい内容</b></p>	<p>児童生徒も、安全に気をつけて過ごすように気をつけています。児童生徒による安全点検は、いろいろな視点から意見を出し合いながら取組とても大切な時間になっています。異学年の集団での活動は、高学年生徒の点検の様子を見たり、指示を受けて活動したりする機会となっており安全点検のみでなく、チームで動くためのとてもよい勉強の機会となっています。教職員による安全点検に負けないうらい丁寧に検査してくれています。施設安全は子ども達にもお任せを！</p>	

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年10月(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	28
タイトル	～命を守る組み糸～ あっという間に1本のひもに変身!私の防災ブレスレット
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額	24,800円
実践の準備にかかった時間	9時間
実践活動を実施した日時	○防災に関する授業時間 ○帰りの会や昼休みの空き時間
実践の所要時間	各1時間
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性	小学生・中学生
防災教育の対象者の人数	約42人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	○組紐を作る方法 ○必要物品(組紐・笛付きバックル)



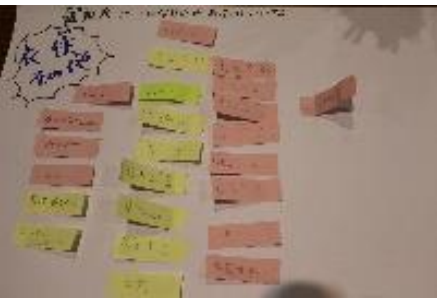

達成目標	災害時に役立つ便利グッズに「紐」がある。パラコート性の強い糸を編み込むことで災害時に役立つ道具となる。(様々な物の固定や、移動など工夫次第) 防災グッズとしてのバックル作りを通して自分自身の身を守る工夫を知識として身につける。	
どの力を身につけようとしたか?	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p><b>実践内容・方法</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません</p>	<p>(1) 防災グッズ・・ 笛付きバックルの活用について ○災害時に役立つ、自分の身を守るときに使う方法について学ぶ</p>  <p>(2) 笛付きバックルを作成 ① 各学年で作成・・ 4年生が1・2年生に教える。他学年についても作成予定</p> <p>(3) 笛付きバックルを使ってみる</p>  <p>① 笛の使い方 ② バックルの外し方 ③ 1本の糸の活用法についてアイデアを出し合う ※作成後はランドセル等につける。</p>	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>自分の身を守るための防災グッズについての作成をする時間の中でも防災について考え合うことができた。上学年が低学年に編み方や使い方を教えることで防災意識を高めることができた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p>	<p>1時間で説明や編み込み、活用についてのアイデア交流などができるので効果的に活用することで「自分自身でも作れる、防災グッズを自分で作ることができた」という意識の高まりにつながった。休み時間や放課後活動など活動時間の工夫が必要だった。</p>	
<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について__</p>		
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>JA 阿蘇営農部</p>	
<p>関係者の説明</p>	<p>バックルの効果について紹介いただいた</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>保護者の皆様へ</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>防災バックルは、子ども達にとってとても良い防災グッズとなりました。自分で編んだという自信や何かあったときに使える物ということで、作った後に宝物のように眺めている子ども達でした。 糸の編み方や使い方について子ども達にお話を聞いてあげてください。編んだ1本1本の糸が、子ども達の防災への願いとなり形作られていると思います。</p>	

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	29
タイトル	～「僕たち私たちの学校が命を守る避難所になるように」避難所についてのアイデアを出し合おう。そして、高森町の防災官に伝えよう!
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間	数時間
実践活動を実施した日時	○2018年8月20日(金)午前8時30分から9時まで 防災チャレンジプラン空き時間○帰りの会や昼休みの空き時間
実践の所要時間 例:2時間×2日=4時間	数時間
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	小学生・中学生
防災教育の対象者の人数	約42人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	防災チャレンジプランの時間では、くつろいだ雰囲気になるようにおかしやお茶を置きくつろげる場を作る。その中で気づきを付箋に書いて出し合い、内容別にグループ分けを行う。最後に3つの視点に分類し一覧にまとめる。

<p>達成目標</p>	<p>児童生徒は熊本地震時、各住居近くの避難所での生活を経験している。話し合いの場としてくつろげる空間を作ることで、意見をたしあい「本校が避難所になった場合にあると良いと思う「衣・住・その他」「約束事」「飲み物・食べ物」の3つの視点で話し合い、本校の避難所としての機能を高める。児童生徒の避難所に対する気づきや思いを高森町防災官に届け連携の機会とする。</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
<p>—</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
<p>—</p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません</p>	<p>3つの視点に関して、広用紙を用意する。</p> <div style="text-align: right;">  </div>   <p>付箋に気づいたことやアイデアを書いていく 書かれている項目毎に付箋紙を分類分け 意見をまとめ、高森町防災官に伝えまとめた用紙をお渡しした。 防災官からの回答・気づきをいただいた。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>本校が避難所になったときに必要だと思う物を全員でまとめてみました。</p> </div> 	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>児童生徒でまとめた、「避難所にあったらよいもの」という視点で考えることで、備蓄として事前に考えておくことの大切さを児童生徒が考える機会を持つことができた。1年生から「避難所約束事」について「ふわふわ言葉を忘れない」「大丈夫ですか」と声をかけるなどの意見が出ており身近なこととして考え合うことができた。高森町の防災官に児童生徒がまとめたものを手渡しコメントをいただいた。現在、高森町で備蓄倉庫を検討中であり児童生徒が考え</p>	


	たことも取り入れていくという約束をしていただいた。みんなで考えあったことは、避難所を考えていくうえでも効果的だった。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	ワールドカフェでは他の活動があったので時間がなかなかとれなかった。意見の補足やまとめを休み時間等を活用し検討していった。また、児童と生徒全体での活動にすることが難しかったので生徒と防災官が出会う機会を確保することが難しく、災害避難訓練の終了後に時間を確保した。	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について__		
関係者の名前・団体名	高森町防災官（岩下）	
関係者の説明	8年生防災リーダーから、本校全員で避難所について考えたことを聞きアドバイス	
関係者の連絡先	高森町役場総務課 岩下	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ 1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください		
伝えたい相手	高森町防災官 岩下様	
伝えたい内容	<p>1年生から9年生までで、本校が避難所になった場合に必要な物を3つの視点に分け考え合いました。低学年から避難所で大切な物・心・行動についていろいろなアイデアを出すことができていました。熊本地震を経験した子ども達にとって今回の取組と高森町の取組のご紹介は防災についての取組の勇気につながりました。</p> <p>子ども達は最初は「もの」で必要と思われるもの気づきを、1つずつ出していました。時間がたつごとに「約束事・心の面」で助け合うことの大切さに目が向き始めました。自分や周りの人々の命を守るために自分のこととして考え始めています。これからもよろしく願います。</p>	



## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	30
タイトル	～防災への思いを表現する!! 標語・ポスターの作成～
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額	なし	
実践の準備にかかった時間	4時間	
実践活動を実施した日時	春休みの宿題	
実践の所要時間	4時間	
実践の運営側で動いた人の人数	2人	
防災教育の対象者の属性	小学生・中学生・その保護者	
防災教育の対象者の人数	約42人	
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町	
実践を行った具体的な場所	各家庭	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	各学年の災害テーマをもとに、標語やポスターの作成 必要物品(記録用紙・画用紙)	
達成目標	各学年で自然災害のテーマを基に、防災減災について考え、標語やポスターとして表すこと。家庭で保護者とともに自然災害について考える機会とする。	
どの力を身につけようとしていましたか?	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに


<p><b>実践内容・方法</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません</p>	<p>○学年毎に災害（地震・豪風雨・水害・災害の備え・阿蘇火山噴火等）についてテーマを決めポスターや標語として防災に関すること書いたり描いたりする。 ○各家庭で、保護者とともに考え作成する ○作成された物は掲示・安心安全東っこ便りで紹介する ○作成された作品をまとめ防災カレンダーを作成。 全家庭に配布した。</p> 	
<p><b>得られた成果</b></p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>各学年でテーマを決め取組んだり、一つの場所で掲示したりすることで、様々な自然災害について考えることができ、命を守るための工夫や大切さについて児童生徒が考える機会となった。掲示物を「〇〇が大切だから工夫して書いた」など話してくれる児童生徒も見られた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p> <p><b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b></p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p><b>課題・苦労・工夫</b></p> <p>やってみてわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>標語やポスターについて、自然災害をテーマ毎（地震・風水害等）に分け学年毎に取組を進めた。休日を活用したことで保護者の協力も得られた。</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>児童生徒の皆さんへ</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>一人一人の防災ポスターや標語を見ていると、書いているときの表情や災害を防ぐという思いやメッセージを思い描きながら取り組んでいる様子が目に浮かびます。これからも防災についてしっかり考え「自分ができること、自分がしなくてはいけないこと、命を守ること」を一緒に考えていきましょう。</p>	

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日（30年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	31
タイトル	～高森東校区の安全に頼もしい味方がいることを知ってほしい！～ 頑張っている僕たち私たちの様子を知らせよう！！
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	ほぼ0円
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	1時間
実践活動を実施した日時	2018年11月17日
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	数時間
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	保護者・一般参加者（地域住民）・保育園児・小学生・中学生・高校生・学校運営協議会役員・地域民政員・PTA役員等
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校第2棟
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	掲示板・パソコン（動画にて活動の様子を掲示）防災カレンダー 防災手帳

達成目標	今年度の防災教育の取組を、展示コーナーで知らせる。 壁面での掲示とパソコンでの動画配信、カレンダー・防災手帳の配布等を行い防災の取組について啓発する。
------	--

どの力を身につけようとしたか？ —	知識・技能	
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	 <p>文化祭の展示コーナーに設置。地域の方々も見学に来ていた。</p>	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	本校の学びを掲示することで、活動の様子を地域の方々に知らせることができた。	
どのくらい身につきましたか？ <b>該当しないものを削除し該当するものを残す</b>	知識・技能	
	思考力・判断力・表現力	
	学びに向かう力・人間性	かなり
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	展示だけでの啓発になったので、説明の時間等がとれなかった。 内容を深めて伝えるためには、時間の確保が必要だった	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</p>		
伝えたい相手	ひめゆり文化祭に来場されたみなさんへ	
伝えたい内容	本校の取組の一部を掲示にてお知らせしました。写真の子ども達の表情を見てください！積極的に防災教育に取り組んでいます。未来子ども達が自然災害から、自分自身や地域の方々を守れる力がつくように学習を続けます。	

## 実践したプランの内容と成果

記入日	2018年11月30日(30年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高森東学園義務教育学校
実践番号(団体内・年度内の通し番号)	32
タイトル	いろいろな情報をご家庭に！！ 安心安全に過ごせるヒントになれば・・・
実践担当者のお名前	防災主任 福島 健太

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から	なし
実践の準備にかかった時間 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間	月に1時間
実践活動を実施した日時	4月～毎月1回配布
実践の所要時間 例：2時間×2日＝4時間	
実践の運営側で動いた人の人数	2人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u> (複数可)	
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	熊本県 高森町
実践を行った具体的な場所	高森東学園義務教育学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	紙媒体で作成し配布

達成目標	各月の防災テーマと、児童生徒の活動の様子、防災防犯について気になることを考えてほしいことを保護者や児童生徒に啓発していく	
どの力を身につけよ	知識・技能	

うとしましたか？ —	思考力・判断力・表現力	
	学びに向かう力・人間性	
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません	〇防災に関するたよりの配布で啓発 ①「安心安全ひがしっこだより」の作成。 学習の様子や、季節的な防災に関する情報を掲載し、防災に関する意識を高めていく。 ②学校便り・・・適宜 ③学級便り・・・適宜 ④学校ホームページ 日常生活の生活の様子に避難訓練等が合ったときに掲載   	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	情報を定期的に伝えることができる。その中で、児童・生徒の様子なども伝えながら、学校の取組・地域の取組として啓発できた。 児童生徒が家庭で防災について語り合う時間を持つことができた。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	
	思考力・判断力・表現力	
	学びに向かう力・人間性	
課題・苦労・工夫 やってみたい新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	防災に関する情報を調べたり、学んだりした内容や児童の活動の様子を伝えることに限られている。時間がとれるようだったら専門家の思いを取材し掲載するようにすると広がりのある内容になったのではないかなと思う。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について —	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

<b>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</b>	
<b>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</b>	
伝えたい相手	地域・保護者の方々へ！
伝えたい内容	定期的にお伝えする防災情報をいかがでしょうか？専門的な知識にはほど遠いですが、子ども達や保護者の方々へ学校からの防災について伝えたい思いをお伝えしてきました。これから、お便りや会話等をきっかけに防災について語り合うことができれば幸いです。